

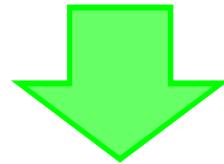
BPSDスポット調査とは

認知症介護研究・研修センター

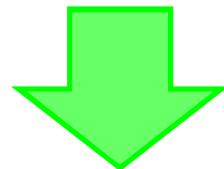
このように考えたことはありませんか？

ケア困難事例と言われた認知症の人の状態が安定し、笑顔もみられてきた。

(良いケアができた)



その経験を「見える化」して共有できないか・・・



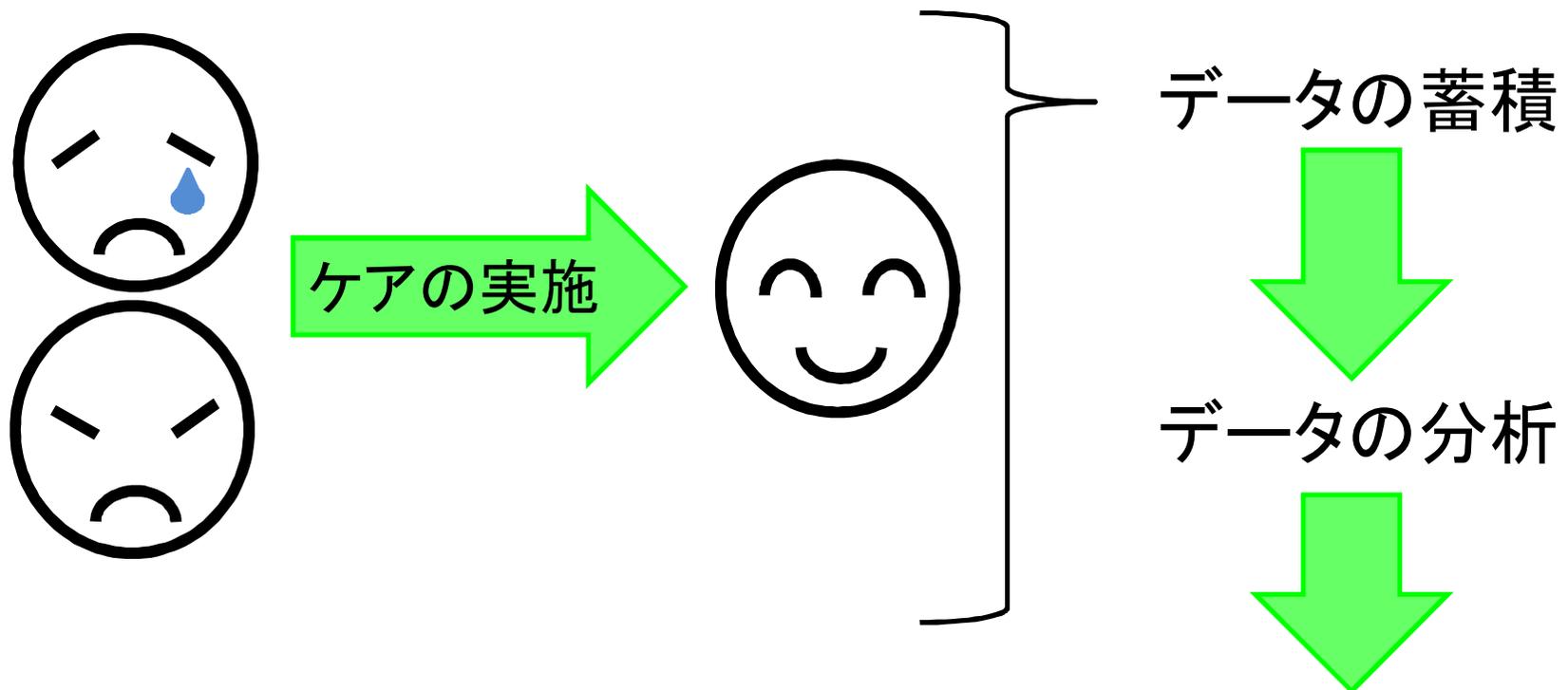
BPSDスポット調査

BPSDスポット調査の目的

認知症の人の状態に即し

どのようなケアがどの程度の確率で有効かを明らかにする。

そのためにケア実践事例を多数集め、分析します。



認知症の人の状態に即したケアの標準化

BPSDスポット調査の構造

前評価 登録日の認知症の人の状態とこれから行うケア

- **認知症の人の状態**: BPSD、QOL、認知機能、ADL・IADL、症状の頻度・重症度 等
- **これから行うケア**: 項目別プルダウンで、22領域のケアを登録

2～4週間後

後評価 (ケアとその結果): 2～4週間の取組みと結果

- **認知症の人の状態**: BPSD、QOL、症状の頻度・重症度 等
- **2～4週間行ったケアの効果**: ケアの実施率＋有効性

BPSDスポット調査の進め方のイメージ

